



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX0987-22-9588 会長 竹井崇利

ロータリー財団月間

第 3178 回例会	No.18	2018. 11. 07	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分	「国歌」 「奉仕の理想」	
ロータリーの目的	村社浩二 君		
例会行事	結婚・誕生者卓話（本日は結婚者）		

会長時間

昭和 54 年、祖父竹井忠五郎の手記を書いています。ご紹介させていただきます。まず、祖父は明治 42 年 12 月 13 日に日南市細田町大堂津に生まれています。大正 13 年に細田尋常高等小学校を卒業後、家業を継ぎ、建築業に従事した。第一次世界大戦後、国内は世界的な不況に見舞われ、日本経済は不景気のどん底に落ちいった。そこで、建築業を断念し昭和 5 年に木材業に転業した。転業後、弁甲材、杉、松材の生産に励む。そのご景気は浮上し、木材の需要が増し弁甲材は大きく値上がりする。一方油津港はマグロ船の基地としてにぎわい、歓楽街は木材とマグロ業者であふれていた。

昭和 16 年、支那事変から太平洋戦争へと拡大していった。昭和 18 年祖父に召集令状がきた。同年兵は沖縄に送られ誰一人生きて帰って来るものはいなかった。幸か不幸か祖父は耳が遠かったため、佐賀の要塞に送られた。人の運命は紙一重である。昭和 20 年 8 月 15 日終戦、そして、9 月に復員する。油津の街は空襲の焼け野原であった。家族は幸いにも疎開していて無事であった。

昭和 21 年預金は封鎖され、戦時中儲けた金は全て取られてしまった。しかし、残っていた山林がその後の事業資金として大いに役立った。昭和 26 年に朝鮮戦争が勃発、この戦争で日本経済は上向きになり、県内の木材業界も大いに発展した。昭和 27 年からは沖縄へ木材を輸出するようになった。しかし、その後、昭和 46 年ニクソンショックにより 1\$ 360 円であったドルは 180 円まで暴落し、外材は安価で日本に輸入され国内材は外材に圧迫されるようになった。また、日南地方の特産である飢肥杉弁甲材は需要が極度に落ち込んだ。昭和 47 年、40 年にわたる木材業を断腸の思いで廃業した。

一方で、国内は高度成長によりレジャー産業が盛んになり、当社は昭和 41 年に宮崎県下で 3 番目のボーリング場をオープンした。全国的にもボーリングブームが沸き上がり連日満杯の盛況であった。また、昭和 29 年に今後の自動車産業の発展を見込んで日南石油（株）を設立しました。ガソリンスタンド、プロパンガス事業を展開する。

話は変わりますが、祖父は昭和 42 年に三菱石油海外視察団の一人として欧米視察に出かけました。すでに祖父は 60 歳を超えていました。当時の平均寿命は 67 歳です。今でいえば 75.6 歳で 1 ヶ月近くも旅行に行くということは大変なことだったのでと思います。家族の反対もあったと思います。祖父のエネルギーを見習いたいです。

このように祖父の手記を改めて読みますと、その時代、時代に受け入れられた事業を展開してきたことのように思われます。今の時代はいったい何が受け入れられるのだろうか。

ニーズは何か考えていきたいと思います。職業を通して社会に貢献できる、社会に奉仕できるものを考えていきたいと思います。

幹事報告

理事会報告 当クラブ主催事業の出席扱いについて…例会スケジュールに予定が組み込まれていたら HC 出席それ以外は MC

委員会報告

雑誌会報広報委員会 「ロータリーの友」11月号案内

親睦委員会 結婚者 阿部政廣君 (1977) 築瀬敦君 (1994) 井野畑善順君 (1979) 桑村文昭君 (1997)
峰松俊夫君 (1994) 土屋昭次君 (1972)

スマイル

竹井崇利君 11/4に娘が無事に結納する事が出来ました。娘の幸せを祈念してスマイルします。

村上賀昭君 社会福祉法人つよし会川越宏樹理事長の後援会長をさせて頂いています。日南RCメンバー多数のご協力に、この場をお借りして、感謝申し上げます。

田島逸男君 今日は、どうしてもイイナ (11/7) の日ですが、明日 11/8 は鬼束君の誕生日ですが、私達業界の記念すべきイイハの日です。皆様、今後のお口の手入れに心がけ、健康寿命の延伸に努めて頂ければ幸いです。

濱砂睦司君 本日朝、帰郷していた娘に男の子が (初孫) 誕生しました。この後顔を見に都城に帰ります。

例会行事

結婚者卓話

阿部政廣君



本日は、結婚記念のお祝いをいただき、心から感謝申し上げます。

結婚記念日は昭和52年11月5日ということになっておりますが、結婚式を挙げた日なのか、入籍した日なのかは今もわかりません。正確な日はいつなのか臆本で調べるほどのことでもないなと思って、そのままにしております。

結婚して丸41年を迎えるようですが、夫婦の間で結婚記念日を祝う習慣は、とっくの昔になくなっておりまして、毎年、ロータリーでいただく記念品で結婚記念日を思い出しています。世の中には、夫婦が永遠の愛を誓い合った日に、夫婦の絆を再確認するために、毎年お祝いしている夫婦も多いのではと思っておりますが、昨年が節目のルビー婚 (40年目) でしたので、遅ればせながら、ルビーの色に合わせた赤いバラでも贈ってみようかと考えましたが、すでに2日過ぎておりますので、禍のもとになるので止めようと思えます。「さわらぬ神にたたりなし」と言いますから、本日はありがとうございました。

築瀬 敦君



本日は、結婚記念のお祝いをいただき、ありがとうございます。

11月5日で、24年たちました。出会ってからは、30年以上経過してしまいました。よくこんな男と付き合ってくれたなと妻には感謝です。

結婚の卓話をとということで何を話そうかと思ひ、前回の自分の卓話を週報で調べたら、結婚したころの話をしていました。今日は、最近の我々二人の話をします。

今年の3月に、息子3人がそれぞれ、大学、高校、中学を卒業しました。そして4月から長男は福岡の会社に就職し、二男は鹿児島大学の大学に、三男は小林の高校に通っています。上二人は一人暮らし、三男は寮で生活しています。というわけで現在、20数年ぶりに夫婦二人で生活しています。何が変わったかという、やはり家の中が静かになりました。そして時間の流れがゆっくりになったように感じます。これは子供たちがいなくなった分、彼らの時間に振り回されなくなったということですかね。妻も、早く帰る必要がないので夕方の時間が仕事に使えるようです。私はほったらかしですが。

3月まで、二男と三男と4人で生活していました。まあ、二男は大学に行くといっていたのでいなくなるのはわかっていました。ですから、覚悟はありましたが、さすがに三男が出ていくとは考えていませんでしたので本気で小林にハンドボールしに行くと言った時は少し考えました。しかし、本人の人生ですので好きにさせることにしました。妻は、さみしいと言って嫌がっていましたが。

休みの日になると、二人で出かけることが多くなりました。あれがほしいと息子からリクエストがあり買い物に行ったり、二男が帰ってくると言っては迎えに行ったり、帰ると言うから鹿児島に送って行ったり。三男の練習試合があると言っては見に行ったり、息子がらみばかりですけど。先日は、熊本の山鹿まで見に行ってきました。日帰り。結構きつかったです。今は二人の生活にも少しは慣れ、今まであまり結婚記念日は特に何もしなかったのですが今回は食事に行きました。というのも、三男と一緒にハンドボールしに小林に行った子がいて、まあ、三男にとっては親友という存在なのですが、その両親と1年違いですが結

婚記念日が一緒に、じゃあ一緒に祝おうと食事に行った次第です。偶然とはすごいと思いました。この偶然はここで終わりではないのですが、その話は、何かまた話をしなければならぬ時のためにとっておきます。

本日は、本当にありがとうございました。



井野畑善順君

結婚してから、本日で、結婚39年目の記念日となります。来年は40周年でルビー婚式と言うそうです。特にそれを買う予定は有りませんが・・・

昨年の結婚記念卓話は、「新婚旅行編」をお話し致しました。「新婚旅行」と言えば、「ハネムーン」です。「ハネムーン」は最高の満月の事を言うそうです。ただ、あとは欠けて行くだけだそうです。では、何故「ハネムーン」と言うのでしょうか？ハニーとムーンと言う言葉を合わせた意味から、「蜜月」とも訳されて、蜜のように甘い月をイメージしますが、その語源は、そう甘いものではなかったようです。古代ゲルマンの新婚夫婦は、結婚してからの1ヶ月間（ムーン）、蜂蜜（ハニー）を発酵させた酒を飲む習慣が有りました。これが語源となって、ハネムーンと言う言葉ができました。これは、二人の時間や味わいを楽しむよりもまず、子作りをする為のスタミナをつけるのが目的だったようです。種付けの為の精力剤で、ほとんど労働的な意味合いだったのでしょうか？

しかし、「MOON」という言葉にも深い意味が有ります。月は満ち欠けを繰り返すものです。新婚当初は、満月のように欠けるところのない愛情に満ちた生活を通常送ります。ですが、月日が経つとやがてケンカをする事もあります。それでも、愛情は月の満ち欠けのように再び戻るものだという教訓が「ハネムーン」という言葉に込められているのだそうです。結婚生活39年、当然満月はあちこち欠けて原型を留めない凸凹だらけの井野畑家の月では有りますが、欠けすぎてその「ムーン」が消滅してしまわない様に日々努力して参りたいと思っております。



峰松俊夫君

『総務省社会生活基本調査』から

男性 1日 $x(0.009xX^2 - 1.97xX + 109.3)$ 、女性 1日 $x(0.009xX^2 - 2.09xX + 121.1)$ という計算式が示されています。Xに年齢を入れると、子供と残りどれくらいの日数を過ごせるかがわかるというものです。

すなわち、幼稚園に入る3歳になると、子どもと一緒に過ごす時間の18%がすでに終わります。小学校を卒業するころには、一緒に過ごす時間は半分以上が過ぎているのです。(55%)18歳で親元を離れる時点で、一緒に過ごす時間の7割以上が終わってしまうのです。(73%)

さて、あと何年生きられるか、ざっくりと考えてみたい方はこう考えましょう。

高齢になってくると『残りの生存年数（平均余命）の数値 = 子供と一緒に過ごせるほぼ残り日数値』となっています。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
前々週 10/24	35	3	32	26	6	0	32	100%
今 週	35	3	32	26	3	3	29	90.62%
出席免除	古澤、土屋、渡邊							
先々週MU	菊池、清水、濱砂、古里、松尾、村社							
先取MU	磯上、日高、宮田							
欠 席	桑村、小玉、松尾							

串間 RC30 周年式典参加報告

11月10日(土) 串間RC 創立30周年記念式典が志布志市の国民宿舎ボンベリアダグリで開催されました。参加メンバーは、竹井崇利君、山口秀一君、落丸正博君、井野畑善順君、清水満雄君、築瀬敦君、鬼束忠男君、豊田裕康君、土屋昭次君、日高章太郎君、河野通郎君の11名が参加しました。参加された皆さんお疲れ様でした。



みんな揃って記念(証拠)写真



落丸AGの万歳三唱

事務局 〒887-0001 日南市油津3-11-17 油津海友会館2階 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：竹井崇利 副会長：山口秀一 幹事：山口秀一 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。